

# 牛久：学校周辺に見る自然

第38号 みずべ公園(ひたち野うしく小)

2016年10月25日発行

## < 動物のすみか ～ ⑬ は虫類 >

9/27, 10/4にひたち野うしく小3年生と歩いたみずべ公園、今回は恐竜と同じ爬虫類のなかま。



舌を出し入れしながら移動するアオダイショウ。ヘビは舌でにおいや味を感じとり、えものを見つける。

は虫類のなかまではカナヘビがどのクラスでも見られましたが、ヘビは10月4日の4, 5組の観察終了の集合時に見つけました。アオダイショウです。昨年春の観察下見のときに見つけたのとほぼ同じ場所ですので、もしかすると同じヘビかもしれません。公園内にぬけがらが落ちていますが、だいたいどれもアオダイショウのもののようにです。木登りの上手なヘビです。舌を出し入れしながら移動していましたが、ヘビは舌でにおいや味を感じとって、えものを探すのだそうです。



同じくは虫類のなかまでミシシippアカミミガメ。名前から分かるように、北アメリカからやって来たカメです。お祭りなどで「ミドリガメ」などといって売られているかわいいカメがこれです。びっくりするほど成長が早く、このカメたちも飼えなくなって捨てられてしまったものと思われます。日本中の池などで繁殖し、問題となっています。「生きものを飼うなら、最後まで責任をもって」を心がけてほしいものです。【理科支援員：宮内】

池から出たくいによじ登る、ミシシippアカミミガメ。「ミドリガメ」として飼われていたものが逃げ出したり捨てられたりして繁殖した。